

平成 17 年度事業報告書

[1] 政策研究

昨年度に引き続き研修セミナー参加者を中心に研究会を催した<敬称略>。

月 / 日	講師名	役 職	テ ー マ
17 . 6. 16	松 谷 明 彦	政策研究大学院大学 教 授	「人口減少経済」の新しい公式
17. 7. 21	彭 晋 璋	紫玉ジャパン代表取締役	日中の政治、経済に関する当面の問題 点と今後の展望
18. 2. 23	楠 美 憲 章	中央大学 客員教授	なぜ、今、企業改革か一日産自動車 のケースー

[2] 研修セミナー（フォーラム’ 80）

官庁、政府系機関、民間企業を中心に各団体から派遣される中堅幹部職員を対象に
として、内外の学者、専門家等を講師に招聘し、我が国経済社会における次代の後継
者を育成することを目的とした研修セミナー（フォーラム’ 80）を実施した。

（1） 開講状況（平成 16 年度からの継続を含む）

第 53 期 ： 開講日 …………… 平成 16 年 12 月 17 日
 終講日 …………… 平成 17 年 10 月 19 日

※ 修了後、第 53 期生会を結成し、定例研究会その他自主活
動を行なっている。

第 54 期 ： 開講日 …………… 平成 17 年 5 月 17 日
 終講日 …………… 平成 18 年 3 月 14 日

※ 修了後、第 54 期生会を結成し、定例研究会その他自主活
動を行なっている。

第 55 期 ： 開講日 …………… 平成 17 年 12 月 8 日

※ 現在受講中

（2） 講師・テマ一覧（本年度実施分のみ掲載、役職は当時、敬称略）

<第 53 期>

月/日	講 師 名	役 職	テ ー マ
4.14	森 政 弘	自在研究所 社長 東京工業大学 名誉教授	矛盾を超えるー「非」の論理
4.21	住 田 和 明	防衛庁 陸上幕僚監部 防衛班長	最近の自衛隊を巡る状況について

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
4.28	野 口 秀 行	野口事務所 代表事務	21世紀アジア経済の展望
5.12	武 田 邦 彦	名古屋大学 教 授	環境問題における科学と非科学
5.19	田 中 輝 彦	あずさ(監) 代表社員	公的機関における最近の会計制度を めぐる諸問題
5.26	吉 武 博 通	筑波大学 教 授	企業改革と教育改革 -大学改革の現状と課題-
6. 7	シュテ'イ・ソ'ルタン	元駐日ハンガリー大使	日系企業の中欧進出:EC 拡大のイン パクト
6.23	館 逸 志	内 閣 府 参事官	地域再生への新たな取り組み
6.30	野 村 徹	国際協力銀行 前ニューデリー首席駐在員	最近のインド情勢と日印関係の展望
7. 7	橋 本 久 義	政策研究大学院大学 教 授	中国 vs 日本-中国の強み、日本の底 力-
7.14	後 藤 正 彦	(株) 博 報 堂 CC 局長	企業のリスクコミュニケーション
7.21	矢 島 孝 敏	(株) やまと 代表取締役社長	きものと会社経営
9. 1	藤 田 祐 幸	慶応義塾大学 助教授	エネルギー問題と原子力発電
9.29	荒 木 光 弥	(株) 国際開発ジャーナル 代表取締役社長	国家戦略から見た日本のODA
10. 6	磯 田 道 史	茨城大学 助教授	日本人の歴史観
10.13	杜 進	拓殖大学 教 授	これからの東アジアを展望する
10.19	終 講 式		

<第54期>

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
17.5.17	開 講 式		
5.24	大 来 洋 一	政策研究大学院大学 教授(当会理事)	日本経済をどう見るか
5.31	黒 川 和 美	法政大学 教 授	地域激論-日本の問題、地方の問題 -
6. 7	シュテ'イ・ソ'ルタン	元駐日ハンガリー大使	日系企業の中欧進出:EC拡大のイン パクト
6.21	橋 本 久 義	政策研究大学院大学 教 授	中国 vs 日本-中国の強み、日本の底 力-
7. 5	佐 瀬 昌 盛	拓殖大学 教 授	新しい脅威と日本の安全保障
7.12	田 浦 正 人	防衛庁 陸上幕僚監部 防衛部	イラクにおける人道復興支援活動につ いて

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
7.21	矢 島 孝 敏	(株) やまと 代表取締役社長	きもの文化を共に創る
8.31	小 野 善 邦	大阪芸術大学 教 授	大来佐武郎評伝
9.27	佐々木秀幸	日本陸上競技連盟 理 事	最近のスポーツ界について
10. 4	深 町 宏 樹	横浜市立大学 非常勤講師	南西アジアの現状と将来
10.11	呉 忠 根	帝京大学 教 授	北東アジアの安定と朝鮮半島情勢
10.18	渥 美 堅 持	東京国際大学 教 授	イスラーム文化－歴史、宗教、政治、社会－
10.25	吉 田 恵 一	東京電力 (株) 広報部 マネージャー	電気事業をめぐる課題
11. 1	野 口 秀 行	野口事務所 代表 (元日本政策投資銀行)	自民圧勝後の小泉改革の行方
11. 8	吉 武 博 通	筑波大学 教授(学長特別補佐)	企業改革と教育改革－大学改革の現状と課題－
11.15	佐 藤 正 典	あずさ監査法人 理事長	日本の監査制度と監査法人
11.22	久保田 忠 夫	NEC ファクトリエエンジニアリング(株) 取締役	持続可能な社会の潮流－これからの経営と生き方－
11.29	栗 山 尚 一	元アメリカ合衆国駐箚 特命全権大使	これからの日本の針路
12. 6	柴 田 秀 司	防衛庁 文書課 法令審査室	国際環境の変化と安全保障－白書作成に携わって－
12.13	彭 晋 璋	中国総合開発研究院 教 授	中日経済貿易関係の展望－いわゆる「経熱政冷」のゆくえ－
18.1.17	後 藤 正 彦	(株) 博 報 堂 CC 局長	企業のリスクコミュニケーション
1.24	今 井 和 男	弁 護 士	企業への脅威圧力とコンプライアンス
2. 2	二 宮 正 人	弁 護 士 (日系ブラジル)	2008 年ブラジル日本移民 100 周年に向けての日伯関係の課題
2. 7	西 岡 力	「救う会」常任副会長 東京基督教大学教授	北朝鮮情勢の展望と拉致問題
2.14	森 政 弘	自在研究所 社長 東京工業大学名誉教授	矛盾を超える－「非」の論理－
2.28	武 田 邦 彦	名古屋大学 教 授	環境問題における科学と非科学
3. 7	寺 島 実 郎	(株) 三井物産戦略研究所 代表取締役所長	2006 年への展望
3.14	終 講 式		

<第55期>

月/日	講 師 名	役 職	テ ー マ
17.12.8	開 講 式		
12.15	大 来 洋 一	政策研究大学院大学 教授 (当会理事)	日本経済をどう見るか
12.22	黒 川 和 美	法政大学 教 授	地域激論
18.1.19	田 浦 正 人	防衛庁 陸上幕僚監部 防衛部 防衛課	イラクにおける人道復興支援活動について
1.26	野 田 健太郎	日本政策投資銀行 政策企画部 課長	防災マネジメントによる企業価値向上に向けて
2. 2	二 宮 正 人	弁 護 士 (日系ブラジル)	2008年ブラジル日本移民100周年に向けての日伯関係の課題
2. 9	加 地 伸 行	大阪大学 名誉教授	儒教と現代
2.16	小 野 善 邦	大阪芸術大学 教 授	大来佐武郎評伝
3. 2	野 口 秀 行	野口事務所 代 表	B R I C s をどう見るかー特にインドと中国を組上にー
3. 9	藤 田 祐 幸	慶応義塾大学 助教授	エネルギー問題と原子力発電
3.16	呉 忠 根	群馬県立女子大学 講 師	北東アジアの安定と朝鮮半島情勢
3.23	藤 原 治	(株) 電通総研 代表取締役社長	「メディア」の昨日、今日、明日ー「ネットとメディアの融合」の先にあるもの

(3) 見学会・合宿・その他活動

①	期 日	平成17年6月17日(金)
	見 学 先	JAL成田地区(貨物地区、旅客ターミナル、オペレーションセンター等)
②	期 日	平成17年8月27日(金)～28日(土)
	見 学 先	陸上自衛隊総合火力演習
③	期 日	平成18年1月20日(金)～21日(土)
	見 学 先	東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所
④	期 日	平成18年3月1日(水)
	見 学 先	陸上自衛隊富士学校

[3] 国際交流

1) 平成17年9月第26回海外研修団を組織し、総勢26名でインド、タイを訪問した。概要は次の通り。

① 期 間	平成17年9月13日～9月24日	
② 団 長	恩 田 宗 氏	(社)総合研究フォーラム 常任理事
③ 副 団 長	原 護 氏	東京エレクトロン(株) 取締役
④ グループリーダー	河 野 隆 氏	国民生活金融公庫
同 上	水 橋 雅 弘 氏	三井物産 株式会社
同 上	小 林 直 樹 氏	KMN 株式会社
同 上	望 月 和 幸 氏	日本電信電話 株式会社
⑤ 報告書編集長	小 林 拓 未 氏	アイル税理士法人
同 上	大野木 幸 夫 氏	東京ガス 株式会社
編集委員	河 内 山 晃 氏	NTT ドコモ 株式会社
同 上	柿 澤 幸 彦 氏	東京電力 株式会社
同 上	中 村 雄 一 郎 氏	中小企業金融公庫
⑥ 主な訪問地	バンガロール、ムンバイ、デリー (以上インド)、バンコク (タイ)	
⑦ 訪問地別主要行事 (肩書きなどは当時)		
東 京	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齊田外務省南西アジア課首席事務官講話 ・ 長谷川外務省南東アジア課事務官講話 ・ 恩田団長講話 	
バンガロール	<ul style="list-style-type: none"> ・ TKM社(トヨタ自動車)訪問 ・ インフォシス社訪問 ・ ジェトロ久保木氏講話 	
ム ン バ イ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安井総領事ほか総領事館員講話 ・ 東洋エンジニアリング 川野部氏、みずほコーポレート銀行伊藤氏講話 ・ A S B社訪問 ・ 安井総領事ほか総領事館員、日本企業駐在員との懇談、意見交換 	
デ リ ー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 榎大使講話並びに館員との懇談、意見交換 ・ S.ナヤン JBIC 顧問 (元大蔵事務次官) 講話 ・ ヒーローホンダ社、モーザーベアー社訪問 	
バ ン コ ク	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイホンダ、タイ味の素ベタグロ社訪問 ・ 時野谷大使ほか大使館館員講話 ・ 白崎バンコク商工会議所会頭講話 ・ 団長、団員による研修総括発表 	

2) 平成18年3月特別研修団を組織し、総勢16名で中国・上海を訪問した。概要は次の通り。

① 期 間	平成18年3月18日～3月21日	
② 団 長	大 里 一 志 氏	東急リバブル 株式会社
③ 主な訪問地	中国上海、蘇州	
④ 主要行事 (肩書きなどは当時)	・ 蘇州綜研化学訪問 ・ 上海在住駐在員講話、懇談 (ジェトロ、KPMG、キリンビール) ほか	

[4] その他

- ・ 昨年度に引き続き、研修セミナー (フォーラム '80) の拡充、ひいては本会の経営基盤を固めるべく、趣旨に賛同する参加企業・機関を増やすための活動などを行った。